

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東

コード番号 URL:https://www.cgco.co.jp/

代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)前田 一彦

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 橋本 秀和 TEL:03-3259-7062 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無:有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		売上高 営業利益		経常利:	益	親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	66, 430	△2. 4	2, 502	△47. 3	3, 412	△34.0	2, 135	△23. 2
2025年3月期中間期	68, 036	△14.0	4, 746	△21.0	5, 173	△18.0	2, 782	△51.0

(注)包括利益 2026年3月期中間期

3,595百万円 (△23.5%)

2025年3月期中間期

4,701百万円 (△49.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 中間純利益	
	円銭	円 銭	
2026年3月期中間期	86. 17	_	
2025年3月期中間期	112. 28	_	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	199, 715	121, 167	58. 6
2025年3月期	204, 834	121, 063	57. 0

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期

117,055百万円

2025年3月期

116,728百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2025年3月期	_	85. 00	_	85. 00	170. 00			
2026年3月期	_	85. 00						
2026年3月期(予想)			_	85. 00	170. 00			

⁽注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	142, 400	△1.3	7, 000	△34.1	7, 800	△35.9	5, 500	△3.1	221. 90	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(注)詳細は、添付資料 P. 10「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

1	期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	26, 000, 000株	2025年3月期	26,000,000株
2	期末自己株式数	2026年3月期中間期	1, 208, 020株	2025年3月期	1, 215, 616株
3	期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	24, 786, 262株	2025年3月期中間期	24, 781, 029株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員及び従業員向け株式交付信託口が保有する自己株式が含まれております。

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1)当中間期の経営成績の概況	2
(2)当中間期の財政状態の概況	4
(3) 当中間期の研究開発活動の概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1)中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	g
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	1
(継続企業の前提に関する注記)	1
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	1
(セグメント情報等の注記)	1

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における業績につきましては、当社グループにおいて積極的な販売活動を展開いたしましたが、当期の売上高は66,430百万円と、前年同期比2.4%の減少となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりましたが、営業利益は前年同期比2,244百万円減少の2,502百万円となりました。経常利益は前年同期比1,760百万円減少の3,412百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比646百万円減少の2,135百万円となりました。

セグメント別の状況につきましては、従来「化成品事業」及び「ガラス事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、情報開示の充実を図るべく、第1四半期連結累計期間より「電子材料事業」「エネルギー材料事業」「ライフ&ヘルスケア事業」及び「ガラス事業」の4つに変更いたしました。なお、前年同期との比較は、変更後のセグメント区分に組み替えて比較しております。

セグメント別の概況

(電子材料事業)

電子材料につきましては、NANDメモリーなどの在庫調整による一部製品の販売減少や取引形態変更に伴う一部製品の一過性の販売減少があったものの、AI半導体等向け製品の販売増加などにより、売上高は前年同期比4.7%増加の12,431百万円となりました。一方損益は原材料費他のコスト上昇の影響もあり、前年同期比662百万円減少の2,043百万円の営業利益となりました。

(単位:百万円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
売上高	11,871	12, 431	559	4.7%
営業利益	2, 706	2, 043	△662	△24.5%

(エネルギー材料事業)

エネルギー材料につきましては、競争激化に伴うリチウムイオン電池用電解液製品の販売減少により、売上高は前年同期比34.5%減少の4,991百万円となり、損益は前年同期比1,051百万円悪化の1,765百万円の営業損失となりました。

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
売上高	7, 615	4, 991	△2, 623	△34.5%
営業損失 (△)	△714	△1, 765	△1, 051	_

(ライフ&ヘルスケア事業)

医療化学品につきましては、医療関連製品の出荷は前年同期並みに推移したものの、為替変動による輸出向けの 販売単価の下落により、売上高は前年同期を下回りました。

素材化学品につきましては、前年にPAC(水処理用凝集剤)事業から撤退した影響はあるものの、HFO製品の販売増加により、売上高は前年同期並みとなりました。

肥料につきましては、原材料価格の値上げに伴い販売価格が上昇、販売数量も増加したため、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ライフ&ヘルスケア事業の売上高は前年同期比1.0%増加の18,229百万円となりました。一方損益は低価法の影響(素材化学品、肥料)もあり、前年同期比394百万円減少の1,501百万円の営業利益となりました。

(単位:百万円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
売上高	18, 047	18, 229	182	1.0%
営業利益	1, 895	1, 501	△394	△20.8%

事業別売上高

(単位:百万円)

				(
	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
医療化学品	6, 383	6, 168	△214	△3.4%
素材化学品	8, 538	8, 604	65	0.8%
肥料	3, 124	3, 456	331	10.6%
==	18, 047	18, 229	182	1.0%

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、非住宅向け製品の販売増加により、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、需要が低調に推移したことに加えて、顧客の一時生産停止による製品の販売減少により、売上高は前年同期を下回りました。

ガラス繊維につきましては、自動車向け製品の販売増加により、売上高は前年同期を上回りました。

以上、ガラス事業の売上高は前年同期比0.2%減少の28,285百万円となり、損益は原燃材料費他のコスト上昇の影響もあり、前年同期比167百万円減少の589百万円の営業利益となりました。

(単位:百万円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
売上高	28, 335	28, 285	△50	△0.2%
営業利益	757	589	△167	△22. 2%

事業別売上高

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減額	増減率
建築用ガラス	10, 434	10, 935	501	4.8%
自動車用ガラス	13, 803	13, 031	△772	△5.6%
ガラス繊維	4, 096	4, 316	219	5.4%
その他	0	1	0	79.2%
計	28, 335	28, 285	△50	△0.2%

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ、株価の上昇などで投資有価証券が1,115百万円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が6,900百万円減少したことなどにより、5,118百万円減少し199,715百万円となりました。

負債は借入金の返済などにより有利子負債が3,667百万円減少したことなどにより、5,222百万円減少し78,547百万円となりました。

純資産は配当金の支払いにより2,146百万円減少した一方、親会社株主に帰属する中間純利益により2,135百万円増加したことなどにより、104百万円増加し121,167百万円となりました。また、自己資本比率は1.6%増加し58.6%になりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ、2,293百万円増加し、24,334百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、税金等調整前中間純利益3,555百万円、減価償却費4,037百万円、運転資金の増減 (売上債権及び契約資産、棚卸資産、仕入債務の増減合計額)による収入5,551百万円などにより、12,427百万円の収入(前年同期は13,173百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、定期預金の払戻による収入3,964百万円などの一方で、定期預金の預入による支出2,231百万円、有形固定資産の取得による支出4,477百万円などにより、3,902百万円の支出(前年同期は684百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、長短借入金の減少による支出4,137百万円、配当の支払による支出2,146百万円、非支配株主への配当の支払いによる支出808百万円などにより、7,132百万円の支出(前年同期は10,515百万円の支出)となりました。

(3) 当中間期の研究開発活動の概況

当中間連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、3,845百万円であります。なお、当中間連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(単位:百万円)

	2025年3月期中間期	2026年3月期中間期	増減額	増減率
研究開発費	3, 578	3, 845	266	7.5%

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2025年5月14日に公表しました前回予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

この連結業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1)中間連結貸借対照表

())/ LL			\neg
(単位	٠	百万	Щ١
(+-11/-		\square $/$	1 1/

		(単位:日刀円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25, 483	25, 537
受取手形、売掛金及び契約資産	39, 220	32, 319
商品及び製品	28, 655	28, 427
仕掛品	2, 470	2, 393
原材料及び貯蔵品	16, 080	15, 812
その他	3, 122	3, 201
貸倒引当金	△142	△108
流動資産合計	114, 889	107, 583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18, 239	18, 479
機械装置及び運搬具(純額)	15, 971	15, 642
土地	20, 398	20, 404
建設仮勘定	1, 613	1,821
その他(純額)	4, 629	5, 025
有形固定資産合計	60, 852	61, 373
無形固定資産		
その他	1, 055	1, 419
無形固定資産合計	1,055	1, 419
投資その他の資産		
投資有価証券	17, 835	18, 951
その他	10, 286	10, 456
貸倒引当金	△85	△69
投資その他の資産合計	28, 036	29, 338
固定資産合計	89, 944	92, 131
資産合計	204, 834	199, 715

		(単位:白万円)	
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)	
負債の部			
流動負債			
支払手形及び買掛金	14, 970	14, 089	
短期借入金	7, 711	6, 380	
1年内償還予定の社債	8, 000	8,000	
未払法人税等	649	917	
契約負債	1, 226	874	
賞与引当金	1, 289	1, 348	
事業構造改善引当金	105	105	
その他	15, 148	13, 578	
流動負債合計	49, 100	45, 295	
固定負債			
社債	15, 000	15,000	
長期借入金	11, 610	8, 803	
特別修繕引当金	2, 477	2, 681	
役員株式交付引当金	63	60	
従業員株式交付引当金	379	469	
退職給付に係る負債	4, 949	5, 038	
資産除去債務	_	226	
その他	189	973	
固定負債合計	34, 669	33, 252	
負債合計	83, 770	78, 547	
純資産の部			
株主資本			
資本金	18, 168	18, 168	
資本剰余金	8, 109	8, 109	
利益剰余金	81, 411	81, 500	
自己株式	△3, 817	$\triangle 3,794$	
株主資本合計	103, 872	103, 983	
その他の包括利益累計額			
その他有価証券評価差額金	5, 772	6, 549	
繰延ヘッジ損益	8	1	
為替換算調整勘定	6, 099	5, 617	
退職給付に係る調整累計額	975	902	
その他の包括利益累計額合計	12, 856	13, 071	
非支配株主持分	4, 335	4, 112	
純資産合計	121, 063	121, 167	
負債純資産合計	204, 834	199, 715	

(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 (中間連結損益計算書)

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	68, 036	66, 430
売上原価	49, 138	49, 935
売上総利益	18, 897	16, 495
販売費及び一般管理費	14, 150	13, 992
営業利益	4, 746	2, 502
営業外収益		
受取利息	115	113
受取配当金	271	446
持分法による投資利益	334	77
補助金収入	208	476
その他	517	510
営業外収益合計	1, 448	1,624
営業外費用		
支払利息	155	130
為替差損	416	114
固定資産廃棄損	104	304
その他	345	163
営業外費用合計	1, 021	714
経常利益	5, 173	3, 412
特別利益		
投資有価証券売却益	-	26
関係会社清算益	_	116
為替換算調整勘定取崩益	1, 177	_
特別利益合計	1, 177	142
特別損失		
投資有価証券売却損	0	_
関係会社株式売却損	1, 832	_
特別損失合計	1, 833	
税金等調整前中間純利益	4, 516	3, 555
法人税等	1, 366	1,009
中間純利益	3, 150	2, 546
非支配株主に帰属する中間純利益	368	410
親会社株主に帰属する中間純利益	2, 782	2, 135

(中間連結包括利益計算書)

		(十匹・日2711)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3, 150	2, 546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△237	773
繰延へッジ損益	$\triangle 45$	$\triangle 6$
為替換算調整勘定	2, 267	607
退職給付に係る調整額	△62	$\triangle 73$
持分法適用会社に対する持分相当額	△371	△251
その他の包括利益合計	1, 551	1, 049
中間包括利益	4, 701	3, 595
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	3, 957	3, 089
非支配株主に係る中間包括利益	744	506

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
	516 3, 555
	424 4, 037
引当金の増減額(△は減少)	461 300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24 △17
受取利息及び受取配当金 △	.386 △560
支払利息	155 130
補助金収入 △	208 △476
持分法による投資損益(△は益) △	.334 △77
投資有価証券売却損益 (△は益) 1,	833 △26
固定資産売却損益(△は益)	$\triangle 5$ $\triangle 9$
固定資産廃棄損	104 304
	086 5, 739
	.671 $\triangle 112$
仕入債務の増減額(\triangle は減少) \triangle 2,	
	.948 △256
11 7 7 7 7 7 7 7 7	$\triangle 70$ $\triangle 82$
	820 <u>△23</u>
	636 12, 348
	457 568
	166 △131
	208 476
法人税等の支払額 △1,	
	173 12, 427
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出 △2,	
	3,964
有形固定資産の取得による支出 △2,	
有形固定資産の売却による収入	14 10
投資有価証券の取得による支出	△4 △208
	398 27
関係会社の整理による収入	— 166
	$\triangle 1, 152$
	<u>.684</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	001
短期借入金の純増減額(△は減少) △3,	
長期借入金の返済による支出 △3,	
	$\triangle 1$ $\triangle 0$
その他	$\triangle 49$ $\triangle 38$ 515 $\triangle 7, 132$
	$\begin{array}{ccc} 515 & \triangle t, 132 \\ 416 & 231 \end{array}$
	389 1,623
	858 22,040
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	- 670
現金及び現金同等物の中間期末残高 22,	247 24, 334

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

(連結子会社の事業年度に関する事項の変更)

従来、決算日が12月31日である連結子会社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について、連結財務諸表の作成上必要な調整を行っておりました。

第1四半期連結累計期間より、より適切な経営情報の把握及び連結財務諸表の開示を図るため、セントラルガラスチェコs.r.o.、セントラルガラスインターナショナル、Inc.、基佳電子材料股份有限公司、基佳電子材料シンガポールPte.Ltd.、浙江中硝康鵬化学有限公司、上海中硝商貿有限公司、ジェイセル(㈱、韓国セントラル硝子(㈱については、四半期連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2025年1月1日から2025年3月31日までの損益については、利益剰余金として調整しております。また、現金及び現金同等物の増減については、連結キャッシュ・フロー計算書の連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額として表示しております。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報	告セグメン	\				中間連結
	電子材料 事業	エネルギー 材料事業	ライフ& ヘルスケア 事業	ガラス事業	計	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	11,871	7,615	18, 047	28, 335	65, 870	2, 165	_	68, 036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	2	16	12	31	1, 155	△1, 186	_
計	11,871	7, 618	18, 063	28, 347	65, 901	3, 320	△1, 186	68, 036
セグメント利益又は損失 (△)(営業利益)	2, 706	△714	1, 895	757	4, 644	101	_	4, 746

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業等を含んでおります。
 - 2 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 2 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報	告セグメン	<u> </u>				中間連結
	電子材料 事業	エネルギー 材料事業	ライフ& ヘルスケア 事業	ガラス事業	= 	その他 (注) 1	調整額 (注) 2	損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への売上高	12, 431	4, 991	18, 229	28, 285	63, 938	2, 492	_	66, 430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	2	45	0	91	1, 226	△1, 317	_
# <u></u>	12, 474	4, 994	18, 275	28, 285	64, 029	3, 718	△1, 317	66, 430
セグメント利益又は損失 (△)(営業利益)	2, 043	△1, 765	1, 501	589	2, 368	133	_	2, 502

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商社事業等を含んでおります。
 - 2 調整額は、セグメント間取引消去であります。
- 3 報告セグメントの変更に関する事項

報告セグメントの区分変更

従来、報告セグメントについては「化成品事業」及び「ガラス事業」の2つを報告セグメントとしておりましたが、情報開示の充実を図るべく、第1四半期連結累計期間より「電子材料事業」「エネルギー材料事業」「ライフ&ヘルスケア事業」及び「ガラス事業」の4つに変更しております。

なお、このセグメント変更に伴い、前中間連結会計期間のセグメント情報につきましては、変更後の区分 方法により作成しております。